



工事が始まると監督担当者はそれだけでなく忙しいんです。例えば、コンクリートを打設するための型枠ができれば設計どおりかチェックしますし



写真提供 © 北海道森林管理局

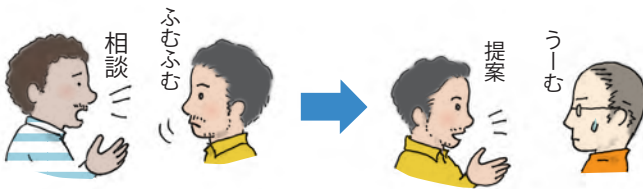
コンクリートが設計通りの配合になっているか、打設は適切にされているか等々、常に業者さんをチェックします



写真提供 © 北海道森林管理局

それらは帳票や写真に記録として残しますし、今回のように想定外のことが起きた時に対応するのも監督の役目です。

プロジェクトではインド人担当者が監督をしています。何かあれば日本人専門家がアドバイスやサポートをしています。そういう相談が最終的に私に来るんです。



2ヶ月後…

やあ、いたいた!
ガリマさん、今時間ありますか!?



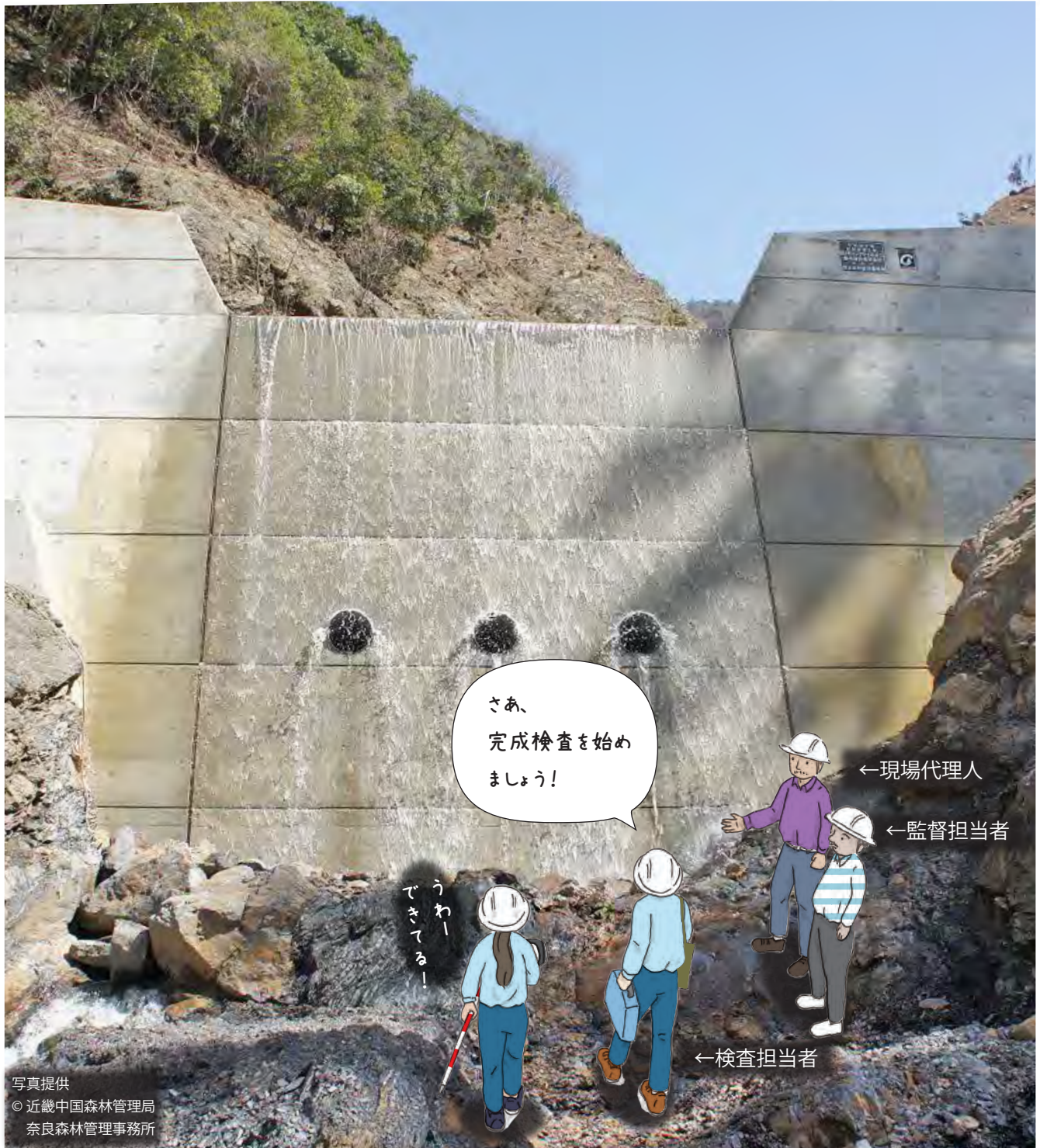
その度に色々調べたりして忙しいんです。でも、工事の完成までまだ頑張りますよ!

大変ですね

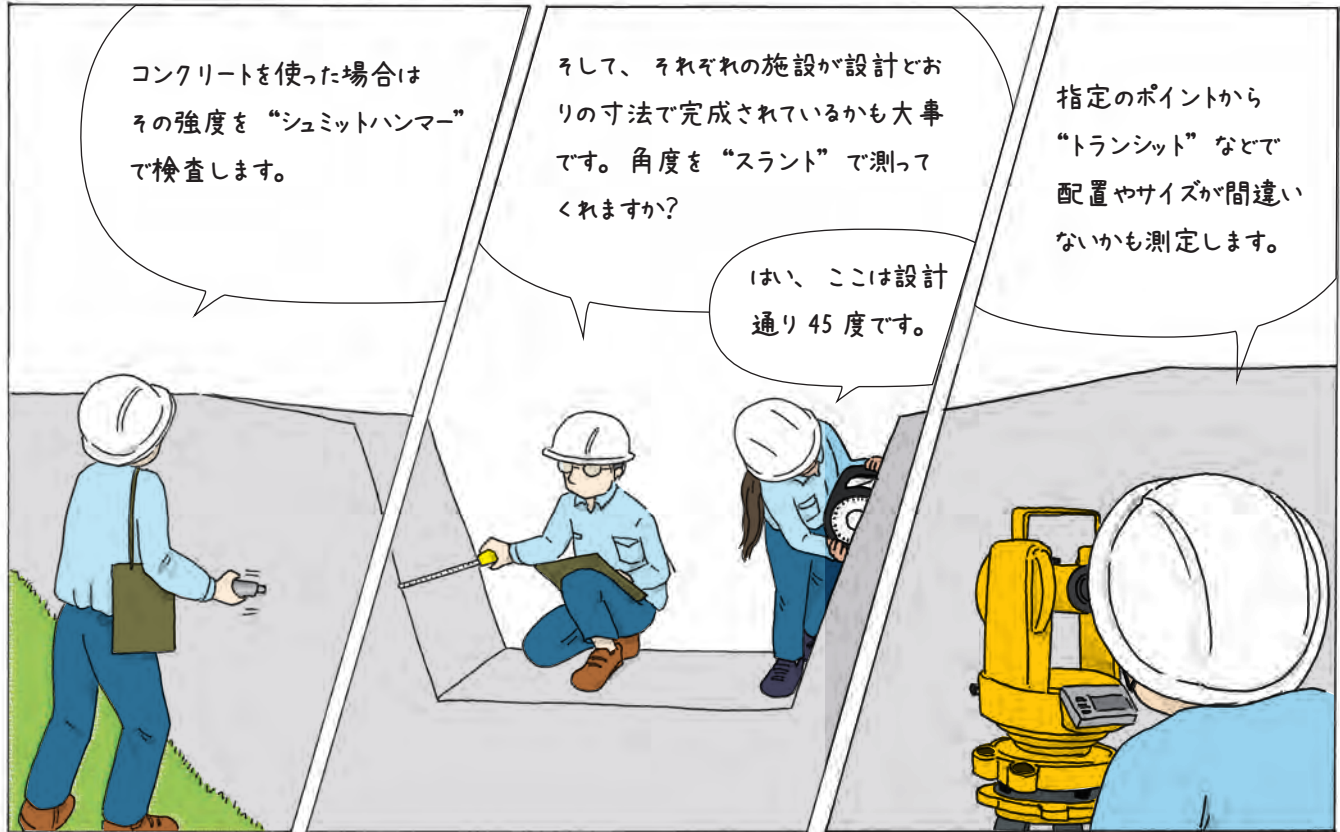
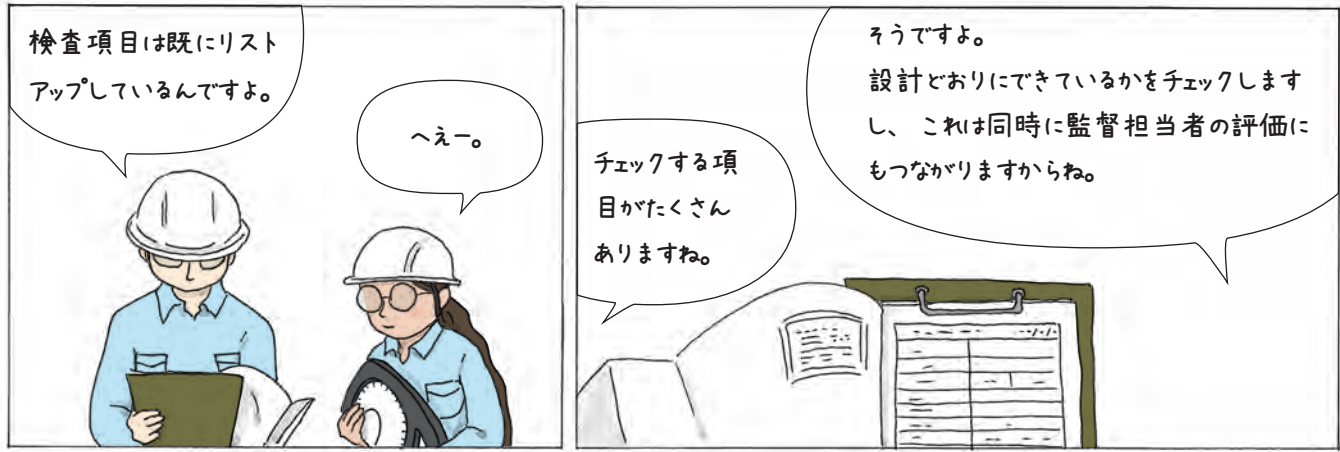
そうか、それで最近おしゃべりが少なかったんですね…

いえ、特に急ぎの仕事は無いんですけど…

じゃあ、これから完成検査に行くので、見学で同行しませんか?



写真提供
 © 近畿中国森林管理局
 奈良森林管理事務所



治山のプロジェクトに関わって思ったんですが、
調査をする人や、設計をする人、積算や監督、そして業者さん



本当にたくさんのおかげ
で一つの工事が終わるんで
すね。



そうですね。
そして、これでサイトが我々の手
から完全に離れるわけではありま
せんよ。



さっき治山ダムに堤名板が
あったのを見たと思いますが、
我々の足跡を残すことで、
後のメンテナンス等にも対
応できるようにしています。



写真提供
© 近畿中国森林管理局
奈良森林管理事務所

そうですね。
そして、ずっとずっと後にサイトが
森に覆われて森林に戻り、下流
の人々が安心して住めるようにな
るまで、私達の仕事は続くん
ですよ？



まさにその通りです!!
ああもう!!私の伝えたかった治
山の真髄をガリマさんが習得し
てくれたと確信しました!
私の役目は完了です!
今回は最初から最後まで
しゃべれたし!!

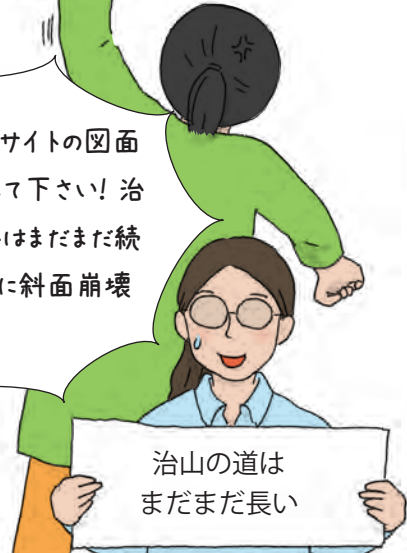


もう満足です!
私は安心して
日本に帰れます!

みなさんありがとう!
お元気でー!



チーフ! 次のサイトの図面
確認を早くして下さい! 治
山プロジェクトはまだまだ続
くんです!そこに斜面崩壊
がある限り!





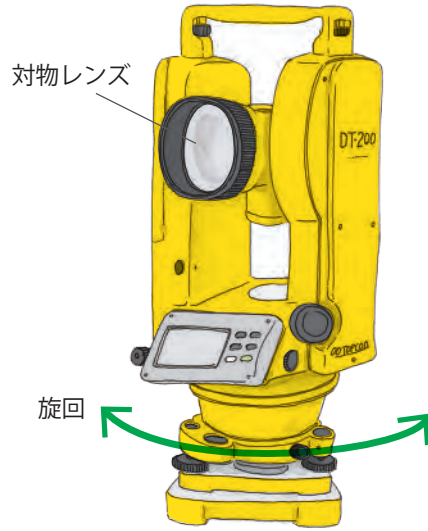
治山の検査には様々な道具が使われます。これらの道具は、工事が終わった時の完成検査でも使われますし、監督員が日々の監督業務の中で重要な作業の時にも活躍します。監督員や検査員は道具を正しく使い、正しい検査結果を残さなければなりません。

【セオドライト(トランシット)】

セオドライト(トランシット)は方角を測り測量をするための機器です。

本体の基部を水平に設置し、回転盤とともに上部が水平回転をして角度を測定します。高度角(鉛直角)は望遠鏡部分を上下させて測定します。

日本では、光波による距離測定機能も備ったトータルステーションの使用が主流になってきています。



【シュミットハンマー】

シュミットハンマーはコンクリートの圧縮強度測定する機器で、コンクリートの表面にバネによる衝撃を与え、その反動から強度を測定します。コンクリート構造物からコアを抜き取る等の破壊を行わず、現状を維持したまま強度が測定できますが、測定値にばらつきがあるため、測定は20回程度行いその平均値を使用します。



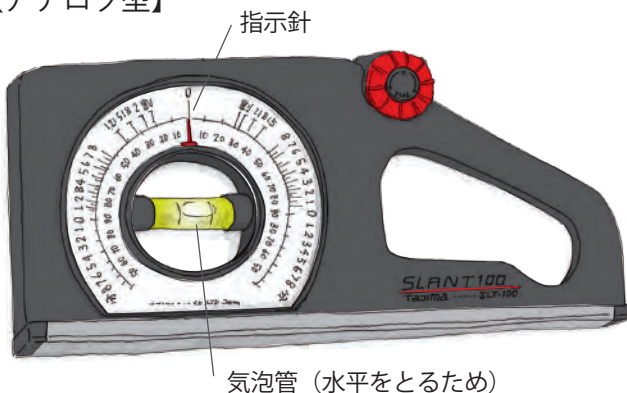
写真提供 © 北海道森林管理局

20~25 に区切り、それぞれの枠内で測定を行い、結果の平均値を求める。

【スラント】

スラントは気泡や分度器を利用して、傾斜面の傾きの角度を計測する機器です。日本では傾斜角が目に見えるアナログタイプのものが多いですが、インドではデジタル式が主流です。測定する際は、測定する斜面にスラントを直接あて、目盛や数値を読みます。

【アナログ型】



【デジタル型】

